

地区別懇談会を開催しました

地区別懇談会は、市民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、新たな試みとして実施したものです。平成26年9月から11月までの間、市内15か所で開催し、参加者は、延べ1054人でした。

地区別懇談会では、市長が市の取り組みなどを説明した上で、市民の皆さんの御意見や御要望を直接伺いました。懇談会終了後のアンケートでは、96パーセントの人が市の取り組みなどの説明を「よ

く理解できた」又は「ある程度理解できた」と、87パーセントの人が「市民と行政の協働によるまちづくりを推進するため」に有効な手法だと思

う」と回答されています。御意見や御要望は、市の施策や事業に反映させ、今後も、市民の声を市政に反映させるためのより効果的な手法の確立を目指します。

懇談会の主な御意見、その際の回答やその後の反映状況などは次のとおりです。

各地区の懇談会概要とアンケート結果の詳細は、市役所3階の企画課及び各公民館で閲覧できます。また、市ホームページにも有ります。

- 平成26年2月の大雪時、重機を持つている会社も少なく、本場に除雪に来てくれるか不安でもあったので、大雪時の除雪対策を考えて欲しい。
- ★本市だけで重機を揃えるのは難しいので、他市との連携や建設業界と降雪時のみ装着できる除雪用器具の導入検討などの対策を進めています。
- ※平成26年12月に岩手県宮古市と「災害時における相互援助に関する協定」を締結、1月に群馬県建設業協会桐生支部と「災害時における応急対策活動に関する協定」を締結。
- 広沢公民館でイベントなどを開催する際の臨時駐車場として、隣の水源地を今後でも使いたい。また、隣接するゴルフ練習場跡地をどのように活用していく計画なのか。
- ★臨時駐車場部分については、整地工事の都合で使えない期間もありますが、引き続き利用できるように検討します。
- 緊急時に高齢者は避難場所の小・中学校まですぐに行けないので、身近で一歩安全な場所に一時的に避難できるような市営住宅の空きスペースを
- 一時避難場所として使用させてもらえないか。
- ★災害時に避難場所が遠い場合もあるし、高齢者を手助けしながら避難する場合なども大変だと思います。近くの安全な場所などは、地元の皆さんが良く知っているので、市防災担当者が地域に出向いて一緒に検討します。
- 黒保根地区に包括支援センターを設置してほしい。
- ★平成27年度から黒保根町に包括支援センターの職員が常駐できるよう準備を進めています。その職員が相談や支援業務を行う予定です。
- 市役所や市民文化館に用事があって行っても、満車で駐車できないので、周辺の公施設を利用できないか。
- ★本場に必要なが駐車でできるように対策を考え、土・日曜日のイベントなどでは、職員駐車場の開放などを周知します。
- イノシシ、シカ、サルといった有害鳥獣被害に対して市はどのような対策を行っているのか。
- ★主に捕獲おりの増設などで対応していますが、新たに川内地区と黒保根地区にサルのおりを試験的に設置し、効果を確かめていきます。
- ※3月に設置。



（●）は意見など、★は回答、※は懇談会後実施したもの）

● 2年後くらいに清流広場が使用できなくなると聞いているが、その後は、清流コンサ

ートを梅田台緑地で開催できるようにしてほしい。

★コンサート開催ができるよう梅田台緑地の整備を検討しています。

※「梅田台緑地整備事業」を平成27年度予算に計上。

● 夏休みの間だけ、子供を学童保育に預けようと相談したら年間通して入ってほしいと言われた。若い人が働きづらくなってしまうのではないかと、若い人が住みづらいということにつながるので、できるだけ早く環境を整えられるよう検討します。

● 老朽化した危険な空き家について、費用の捻出が難しいが行政からの援助などがあれば取り壊すことができるという人もいるので、対策を考えてもらいたい。

★国で空き地や空き家に関する法律を整備中で、市としても専門的に対応する組織や担当を考え、新たなシステム作りなど法律に沿った形で支援

★国で空き地や空き家に関する法律を整備中で、市としても専門的に対応する組織や担当を考え、新たなシステム作りなど法律に沿った形で支援

主な御意見など

（●）は意見など、★は回答、※は懇談会後実施したもの）

● 2年後くらいに清流広場が使用できなくなると聞いているが、その後は、清流コンサ

ートを梅田台緑地で開催できるようにしてほしい。

★コンサート開催ができるよう梅田台緑地の整備を検討しています。

※「梅田台緑地整備事業」を平成27年度予算に計上。

● 夏休みの間だけ、子供を学童保育に預けようと相談したら年間通して入ってほしいと言われた。若い人が働きづらくなってしまうのではないかと、若い人が住みづらいということにつながるので、できるだけ早く環境を整えられるよう検討します。

● 老朽化した危険な空き家について、費用の捻出が難しいが行政からの援助などがあれば取り壊すことができるという人もいるので、対策を考えてもらいたい。

★国で空き地や空き家に関する法律を整備中で、市としても専門的に対応する組織や担当を考え、新たなシステム作りなど法律に沿った形で支援

★国で空き地や空き家に関する法律を整備中で、市としても専門的に対応する組織や担当を考え、新たなシステム作りなど法律に沿った形で支援

●山火事の関係で、白葉峠と一色の市有林入口に防犯カメラの設置を要望しているがどのようになっているか。

★関係機関とも協議を重ねた結果、白葉峠と東西橋の入口に1基ずつ設置することで進めています。

※平成26年12月に設置。



防犯カメラ

●東京から桐生に来る場合、新桐生駅でのおりひめバスの接続が悪いのではないか。

★おりひめバスは、早朝と夜遅くの運行はありませんが、おおむねりょうもう号と接続するようバスのダイヤを編成しています。平成27年4月のおりひめバスダイヤ改正の際には、今までの時刻表のほかに、鉄道との接続が分かりやすい時刻表も作成します。

●山間地域など地区によっては、移動手段が限られていたり、個人商店が減少していたりして、買い物難民になりそうな人が多いので対策をとってほしい。

★JAの移動販売車が稼働している地区や八百屋さんの組合に担っていただいている地

区もありますが、市としてもよく研究しながら、安心して日常生活が送れるようシステム作りを行っていきます。

●高齢化が進み、今後、小さな町会では祇園祭を開催することができなくなる可能性があるため、何らかの支援をお願いしたい。

★重要伝統的建造物群保存地区の建物だけでなく、祇園祭などそこに住む人達が営んでいる風習を含めた「歴史的風致」を後世に残す計画を策定中です。国に認定されると、国から支援なども受けられるようになります。

●第3子以降の保育料が無料化になったが、思い切った第2子以降も無料化すれば、人口減の対策になるのではないかと。若い人達に子供を産んでもらうため、子育て支援を充実してもらいたい。

★第2子以降の保育料無料化にはさらに大きな予算が必要となつてきます。段階的になつてしましますが、これからも結婚したい、子供を産みたいという人の経済的負担を少しでも軽くするような事業を実施していきたいと考えています。

※「第3子以降給食費無料化事業」を平成27年度予算に計上。

桐生・みどり新市建設研究会

第2回研究会を開催しました



3月12日(木)、みどり市役所笠懸庁舎で「第2回桐生・みどり新市建設研究会」を開催しました。第1回で決定した5つの研究項目について、それぞれ調査や研究を進めているワーキンググループから、下の表のとおり検討状況の中間報告がありました。

今後、研究会の開催結果を広報きりゅうや市ホームページなどで報告します。問い合わせは、広域調整室広域調整係(☎内線386)へ。

研究項目	検討状況
① 両市の行政サービスの水準	市民生活に直結し、関心の高い行政サービスの抽出を行い、両市での総事業数は510事業でした。この結果を12に分類することで事業の傾向などを確認しました。今後、サービスを維持向上させるための財政負担などを検討します。
② 両市の共通する課題、地域の抱える課題の解決	それぞれが抱える懸案事項や両市共通課題などの抽出作業を実施し、両市で109項目を抽出しました。この結果を11に分類し、課題のジャンルや傾向などを確認しました。今後、両市での共通課題を優先して研究を進めます。
③ 都市経営、行政運営から見た将来像	財政状況や組織体制の基礎資料などを収集・調査し、比較資料を作成しました。今後、一体となった場合の人員配置や財政のシミュレーションなどを作成します。
④ 両市を一体的に考えた都市デザイン	諸計画や市有施設の基礎資料などを収集・調査し、課題と当面の準備作業を確認しました。今後、課題の研究や改修や再配置などの必要な施設について検討します。
⑤ 連携中枢都市圏制度に対応した地域のあり方	制度の概要や変更点などを確認しました。今後、圏域内での連携による機能・魅力の強化策、対応方針などを研究します。

※研究項目⑤は、国が名称を変更したことにより、研究項目名を変更しました。